

コメント

1.水痘

定点当り2.63人とほぼ横ばいとなっていますが、例年同時期と比べて多い状態が続いています。安芸区では8.0人と特に多く、東区4.7人、佐伯区4.0人となっています。

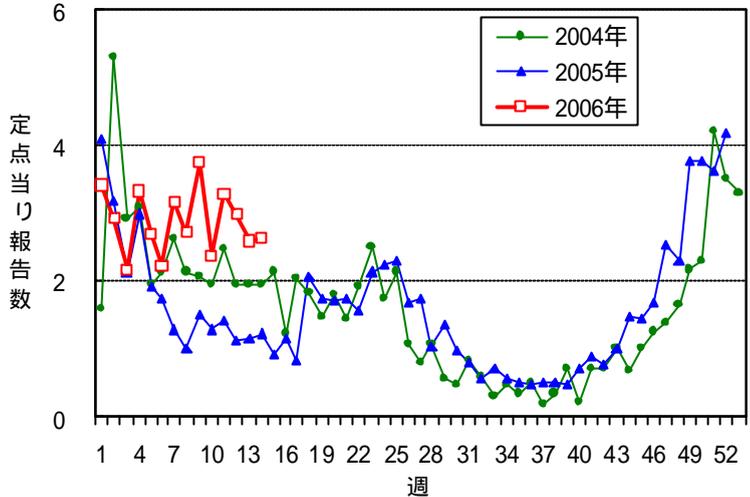
2.感染性胃腸炎

定点当り10.3人とやや減少しています。安芸区では28.0人と特に多く、西区、安佐北区ともに11.3人、中区10.7人、佐伯区10.3人となっています。

3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当り1.29人とやや減少しています。佐伯区2.7人、東区、安芸区ともに2.0人となっています。

水痘



5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)間	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)間	発生記号
インフルエンザ(注2)	3	0.08	1.92		麻疹(注3)	-	-	0.06	
咽頭結膜熱	7	0.29	0.17		流行性耳下腺炎	35	1.46	1.15	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	31	1.29	0.84		RSウイルス感染症	1	0.04		
感染性胃腸炎	247	10.29	8.68		急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
水痘	63	2.63	1.94		流行性角結膜炎	12	1.50	0.95	
手足口病	-	-	0.23		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	1	0.04	0.37		無菌性髄膜炎	4	0.57	0.06	
突発性発疹	16	0.67	0.87		マイコプラズマ肺炎	3	0.43	0.14	
百日咳	-	-	0.04		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風疹	-	-	0.03		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	3	0.13	0.06						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.15～2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少ないなど傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1)過去5年間の同時期平均(定点当り)
 (注2)高病原性鳥インフルエンザを除く
 (注3)成人麻疹を除く
 (注4)オウム病を除く

1類～5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
4	A型肝炎	1	3	男性(40歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	2	男性(30歳代)

5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

報告数	定点当り	全国	インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん
			第10週	76	1	69	418	57	1	3	17	-	1	2	-	70	1	-	1	-	-	2	-
第11週	29	1	52	392	79	2	7	19	-	1	-	-	29	3	-	8	-	1	1	-	-	-	-
第12週	8	7	48	312	72	-	5	7	-	-	-	-	54	-	1	9	-	1	-	-	-	-	-
第13週	5	1	44	300	62	-	8	13	2	-	-	-	43	1	1	7	-	-	-	2	-	-	-
第14週	3	7	31	247	63	-	1	16	-	-	-	3	-	35	1	-	12	-	4	3	-	-	-
第10週	2.05	0.04	2.88	17.42	2.38	0.04	0.13	0.71	-	0.04	0.08	-	2.92	0.04	-	0.13	-	-	0.29	-	-	-	-
第11週	0.78	0.04	2.17	16.33	3.29	0.08	0.29	0.79	-	0.04	-	-	1.21	0.13	-	1.00	-	0.14	0.14	-	-	-	-
第12週	0.22	0.29	2.00	13.00	3.00	-	0.21	0.29	-	-	-	-	2.25	-	0.13	1.13	-	0.14	-	-	-	-	-
第13週	0.14	0.04	1.83	12.50	2.58	-	0.33	0.54	0.08	-	-	-	1.79	0.04	0.13	0.88	-	-	0.29	-	-	-	-
第14週	0.08	0.29	1.29	10.29	2.63	-	0.04	0.67	-	-	0.13	-	1.46	0.04	-	1.50	-	0.57	0.43	-	-	-	-
第12週	2.45	0.39	2.20	7.15	2.22	0.08	0.31	0.58	0.01	-	0.06	-	1.52	-	0.03	0.77	0.01	0.01	0.25	0.01	-	-	-
第13週	1.48	0.40	1.78	6.67	2.22	0.08	0.32	0.62	0.01	0.01	0.06	-	1.62	-	0.03	0.87	0.01	0.04	0.30	0.01	-	-	-

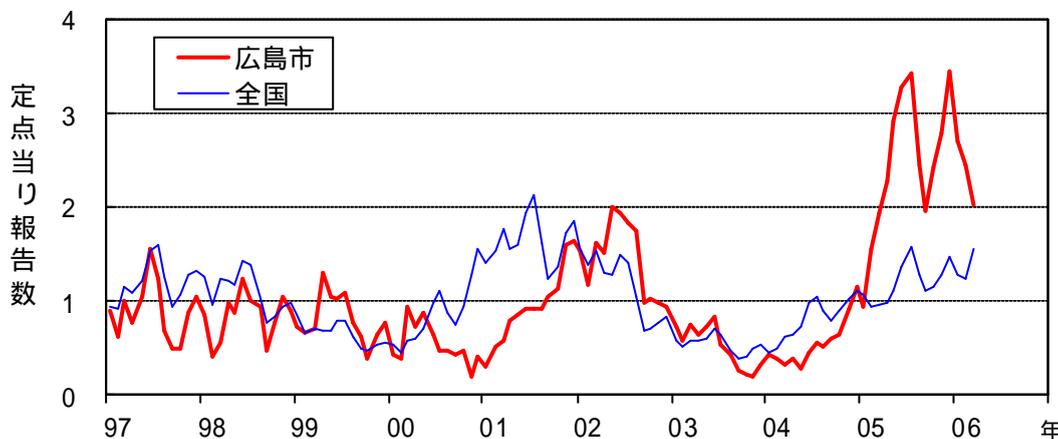
(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

新たな検査結果はありません。

【参考】広島市における流行性耳下腺炎の月別定点当り報告数(1週当り平均)の推移

(1996年1月～2006年3月)



最近の広島市では、2004年から増加傾向で推移し、2005年は大きな流行となりました。

2006年になってから3月まで減少傾向で推移していますが、依然として例年より多い状態が続いています。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2006年第14週(4月3日～4月9日)